

(ア) St.1 (植樹帯)



図 5.19 植生変化の状況 (st.1)

【個体数】(表 5.15、図 5.20)

—春季—

- ・H24年度は2,841個体であり、過年度の変動幅(1,339~4,401個体)の範囲内にあった。但し、H23年度の1,339個体から顕著に増加し、平成20年度の4,401個体に次いで多かった。
- ・バッタ目やコウチュウ目など多種の分類群で増加し、このうちカメムシ目は1,205個体でH23年度の210個体から顕著な増加を示した。
- ・カメムシ目の殆どは、樹林の地表及び土壌中で生活する植物食のミナマルツチカメムシの単一種が占めた。これを除くと、春季は約1,800個体であった。
- ・H23年度まで多かったアオドウガネなどのコガネムシ類(草地や樹林にすむコウチュウ目)やヒトリモドキ蛾類(イヌビワ類が食樹のチョウ目)は数個体にとどまった。

—秋季—

- ・H24年度は1,754個体であり、過年度の変動幅(577~2,462個体)の範囲内であった。
- ・カメムシ目は676個体であった。H23年度の53個体から顕著な増加を示し、その殆どは春季と同じミナマルツチカメムシの単一種が占めた。

【湿重量】(表 5.15、図 5.20)

—春季—

- ・H24年度は76.6gであり、過年度の変動幅(57.3~76.9g)の範囲内であった。
- ・バッタ目やカメムシ目が顕著に増加した。いずれも小型のヒシバッタ類やミナマルツチカメムシが優占したが、個体数は顕著に多く湿重量が増加した。
- ・コウチュウ目やチョウ目が減少した。H23年度まで多かった中型のアオドウガネや大型のヒトリモドキ類が減少し、多種の小型蛾類を確認したことが影響した。

—秋季—

- ・H24年度は18.6gであり、過年度の変動幅(11.6~41.8g)の範囲内であった。
- ・H24年度の顕著な変化はないが、春季と同様にミナマルツチカメムシ(カメムシ目)の増加やヒトリモドキ蛾類(チョウ目)の減少があった。

表 5.15 餌昆虫調査結果一覧 (St. 1)

No.	分類群	St. 1 (植樹帯)																			
		個体数										湿重量 (g)									
		春季					秋季					春季					秋季				
H20	H21	H22	H23	H24	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H21	H22	H23	H24	H20	H21	H22	H23	H24		
1	トンボ目	—	—	—	—	1	—	1	—	1	—	—	—	—	—	0.05	0.4	—	0.04	—	—
2	ゴキブリ目	14	8	7	8	26	3	12	7	—	1	—	0.9	0.9	1.0	3.8	1.2	0.2	—	0.003	—
3	バッタ目	20	36	16	9	307	1	8	8	17	9	4	7.0	2.7	1.9	18.1	0.7	1.3	1.1	1.3	0.6
4	チャタテムシ目	—	—	—	1	2	—	—	—	—	1	2	—	—	0.001	0.001	—	—	—	0.001	0.001
5	ヨコバイ目	1,399	386	74	123	314	24	609	5	152	63	95	1.1	0.2	0.3	1.4	0.6	0.004	2.0	0.04	1.2
6	カメムシ目	857	258	721	210	1,205	24	363	188	152	53	676	1.8	4.5	4.8	29.7	2.7	3.6	1.2	0.6	10.0
7	アミメカゲロウ目	1	1	—	1	1	—	1	—	—	15	—	0.003	—	0.002	0.2	0.01	—	—	0.1	—
8	コウチュウ目	1,657	523	337	249	531	115	229	87	437	146	82	37.6	42.3	31.5	15.9	5.4	3.2	3.8	2.6	2.4
9	ハチ目	28	80	50	38	106	19	154	136	177	100	173	0.3	0.1	0.1	0.3	0.3	0.4	0.3	0.3	0.2
10	ハエ目	30	81	27	31	31	104	500	6	135	1,464	467	0.1	0.4	0.02	0.01	0.5	0.1	0.03	0.3	0.4
11	トビケラ目	2	1	4	2	—	1	—	—	2	2	—	0.002	0.01	0.001	—	—	—	0.003	0.001	—
12	チョウ目	393	411	499	667	317	286	581	588	251	608	255	13.5	25.8	17.7	7.1	18.6	32.9	3.0	9.2	3.9
	合計	4,401	1,785	1,735	1,339	2,841	577	2,458	1,025	1,324	2,462	1,754	62.3	76.9	57.3	76.6	30.4	41.8	11.6	14.4	18.6

 前年度と比較して増加
 前年度比、同程度 (変化量は3割未満とした。但し、10個体未満及び10g未満の変化は変化量にかかわらず含めた。)
 前年度と比較して減少

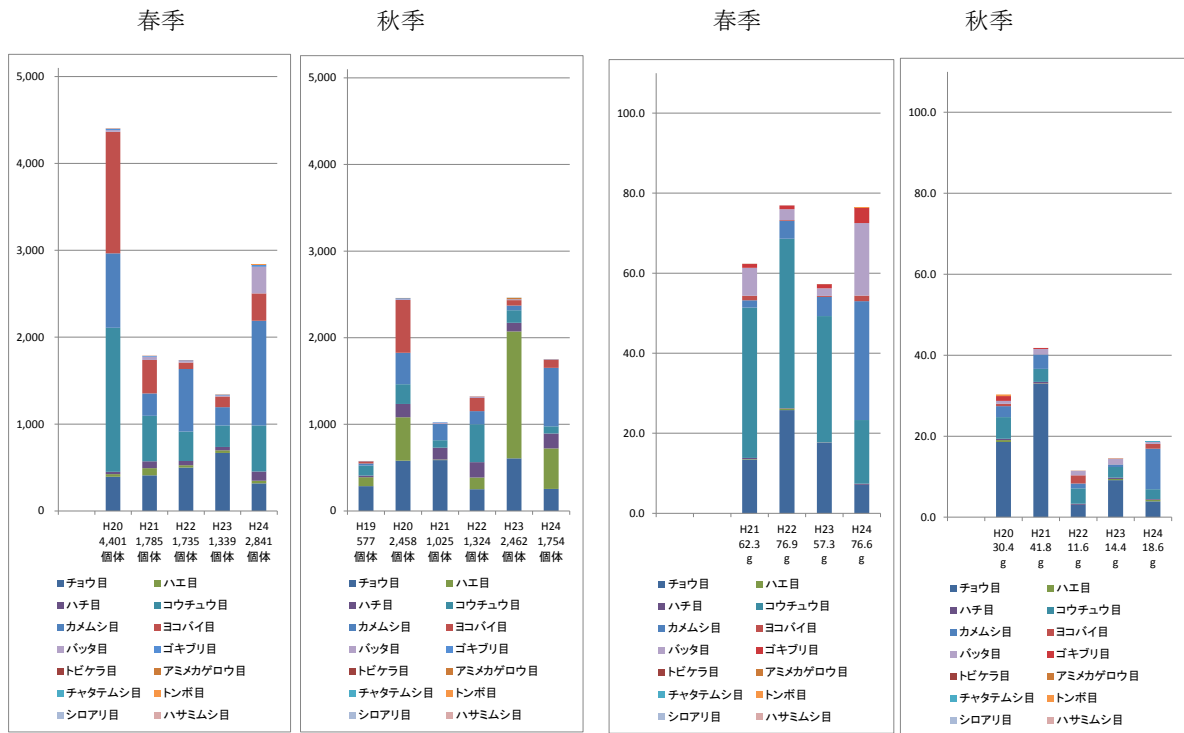


図 5.20 St. 1 における個体数と湿重量の経年変化 (左: 個体数、右: 湿重量 (g))

(4) St.2 (植樹帯)



- ①植樹帯St.2 (平成24年6月)
赤丸はライトトラップの設置箇所。
- ②植樹帯St.2 (平成24年10月)
台風等による落葉や枝折れは法面
傾斜地の一部が目立った。
※空港境界柵の設置に伴い、撮影
を見上げるアングルに変更した。
- ③ミヤコキンカメムシがカキバカン
コノキの実を吸汁。(平成24年10月)
- ④オキナワイチモンジハムシがイヌ
ビワ葉を食害。(平成24年10月)
- ⑤オオバイヌビワに食痕有り
虫体は確認されず。
(写真は前年度。シロスジ
ヒトリモドキ集団食害)
- ⑥植樹帯の状況 (平成24年6月)
盛立て地形の上面は、ヤマ
グワやイヌビワが繁茂する。
St.1と比較して樹高は低い。
- ⑦植樹帯の状況 (平成24年10月)
上面の台風による影響は、蔓
植物の減少除き変化は小さい。
- ⑧ライトトラップ設置状況
(平成24年6月)

図 5.21 植生変化の状況 (St.2)

【個体数】(表 5.16、図 5.22)

—春季—

- ・ H24 年度は 2,189 個体であり、過年度の変動幅 (1,110~3,519 個体) の範囲内にあった。但し、H23 年度の 1,110 個体から顕著に増加した。
- ・ 多種の分類群で増加し、このうちバッタ目は 511 個体、カメムシ目は 693 個体で H23 年度の前者 11 個体、後者 156 個体から顕著な増加を示した。
- ・ バッタ類は多種を含んだが、カメムシ目の殆どは、樹林の地表及び土壌中で生活する植物食のミナマルツチカメムシの単一種が占めた。
- ・ チョウ目は減少した。H23 年度まで多かったヒトリモドキ蛾類 (イヌビワ類が食樹のチョウ目) は数個体にとどまった。

—秋季—

- ・ H24 年度は 1,359 個体であり、過年度の変動幅 (295~5,088 個体) の範囲内であった。

【湿重量】(表 5.16、図 5.22)

—春季—

- ・ H24 年度は 63.0g であり、過年度の変動幅 (43.9~106.3g) の範囲内にあった。
- ・ バッタ目やカメムシ目が顕著に増加した。とくにカメムシ目はミナマルツチカメムシが優占したが、個体数は顕著に多く湿重量が増加した。
- ・ チョウ目が減少した。H23 年度まで多かった大型のヒトリモドキ類が減少し、多種の小型蛾類を確認したことが影響した。

—秋季—

- ・ H24 年度は 12.2g であり、St.1 と異なり過年度の変動幅 (23.4~65.4g) の範囲より少なかった。調査直前時期の台風の影響が考えられた。
- ・ チョウ目が減少した。H23 年度は大型のヒトリモドキ類やスズメガ類が多かったが、H24 年度は小型蛾類が多かったことが影響した。

表 5.16 餌昆虫調査結果一覧 (St. 2)

No.	分類群	St. 2 (植樹帯)																			
		個体数										湿重量 (g)									
		春季					秋季					春季					秋季				
H20	H21	H22	H23	H24	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H21	H22	H23	H24	H20	H21	H22	H23	H24		
1	トンボ目	—	—	1	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	0.1	—	—	
2	ゴキブリ目	3	16	37	52	32	—	3	4	12	—	2	0.9	2.4	5.2	5.2	0.2	0.2	0.6	—	
3	バッタ目	9	85	50	11	511	—	21	3	53	3	6	14.0	4.9	1.1	26.4	2.5	1.5	3.2	0.4	
4	チャタテムシ目	—	—	—	—	3	—	2	8	—	3	1	—	—	—	0.001	0.003	0.01	—	0.001	
5	ヨコバイ目	286	225	127	52	310	8	428	41	712	33	22	0.6	0.2	0.2	2.8	0.5	0.8	0.9	0.04	
6	カメムシ目	439	695	483	156	693	10	136	134	1,268	143	142	6.1	3.7	2.8	12.6	1.7	1.7	10.5	2.6	
7	アミメカゲロウ目	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	0.003	—	—	—	0.01	
8	コウチュウ目	2,631	326	583	163	339	91	937	36	1,888	175	124	27.4	67.4	13.6	11.7	7.1	1.2	31.9	2.1	
9	ハチ目	45	103	230	32	76	4	233	44	550	86	49	0.2	0.4	0.2	0.2	0.5	0.3	0.9	1.0	
10	ハエ目	6	41	75	20	29	66	302	16	109	174	639	0.02	0.3	0.003	0.03	0.2	0.02	0.03	0.1	
11	トビケラ目	—	—	1	—	—	1	—	—	22	—	—	—	—	—	—	—	—	0.02	—	
12	チョウ目	100	441	802	623	196	115	389	579	472	716	373	5.3	27.0	20.8	4.1	12.5	26.4	16.7	17.2	
	合計	3,519	1,932	2,389	1,110	2,189	295	2,451	865	5,088	1,334	1,359	54.6	106.3	43.9	63.0	25.2	32.1	65.4	23.4	

 前年度と比較して増加
 前年度比、同程度 (変化量は3割未満とした。但し、10個体未満及び10g未満の変化は変化量にかかわらず含めた。)
 前年度と比較して減少

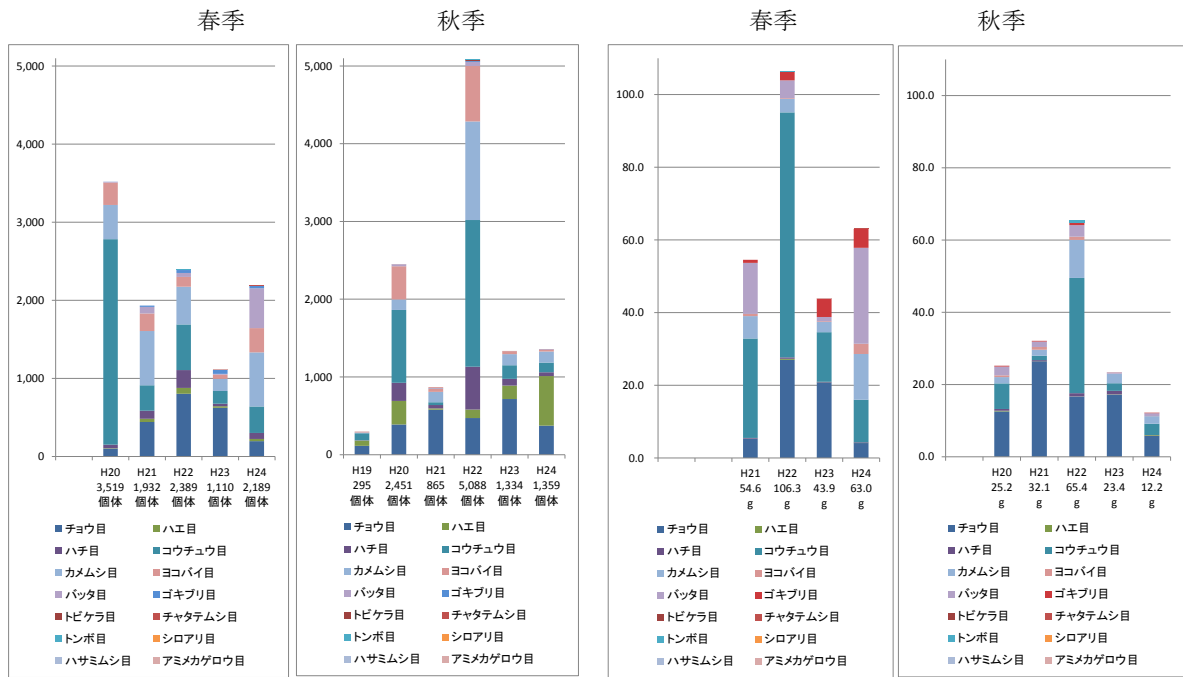


図 5.22 St. 2 における個体数と湿重量の経年変化 (左: 個体数、右: 湿重量 (g))